

平常時から災害時に備えましょう

～災害時のごみの出し方とし尿の処理～

中津川市

災害が発生した直後から数日間は、一部の行政サービスが停止する場合があります。災害が発生した場合のごみの出し方とし尿の処理について、平常時からのご理解をお願いします。

◆生活ごみ



大規模災害発生後は、一時的にごみの収集を中止せざるを得ない場合があります。また収集できる際にも、衛生面から保管に問題のある生ごみや、使用済みの携帯トイレ（※）などの「燃えるごみ」を優先し、「燃えないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」などの収集は一時的に休止する場合があります。



◆災害ごみ（片付けごみ）

被害状況により、収集体制も変わりますので、市の情報に注意してください。家の中で生活する上で、急いで捨てる必要のないごみは、出来る限り敷地内で保管してください。

注意事項

災害ごみについても、分別の必要があります。



◆し尿（下水道接続の場合）

トイレに水を流し、自宅敷地内で下水が溢れていないことを確認してからトイレを使用してください。ただし、道路で下水が溢れていたらトイレの使用は控えてください。集合住宅の場合は下階のお宅への影響にもご配慮ください。

下水道 上水道等		トイレの水が流れる場合 (下水道が破損していない)		トイレの水が流れない場合 (下水道が破損している)
		通常通り使用。		既設トイレは使用しない。 災害用トイレ（携帯トイレ・ 仮設トイレ）を使用。
水が出る場合		排泄後、水で流す。 排水管が詰まりやすいので、トイレト ーパーは流さない。		
水が出ない場合	水の確保あり	既設トイレは使用しない。 災害用トイレを使用。		
	水の確保なし			

◆し尿（浄化槽、汲み取りトイレの場合）

浄化槽、汲み取りトイレについても、破損状況がないことを確認してから使用してください。



災害時に備え、各家庭で携帯トイレの備蓄をしておきましょう。

携帯トイレの備蓄目安 1日（4～7回分）×（3～7日分）×人数

（※）携帯トイレとは、ビニール袋と凝固剤がセットになっている非常用トイレのことです。

し尿、汚物を凝固剤で固めて、燃えるごみとして処分することができます。

携帯トイレがない場合は、ポリ袋の中にオムツやぼろ布などの吸水素材を入れた代用品の
応急対応策が考えられますが、衛生面から携帯トイレの備蓄をお願いします。

